
* 今月退職する社員のご報告 *



秋山みどり
平成20年5月入社

この度、9月29日で永田会計を卒業することになりました。
平成20年5月に入社して4年間と少し。
振り返ってみると、この4年間は「あっという間に過ぎたな・・・」というのが正直な気持ちです。業務の難しさや多さに弱気になり、何度も逃げ出したい気持ちになりましたが、いつもまわりの方々に助けていただいて乗り越えることができました。永田会計に入社して、たくさんのお客様と出会い、その中で様々な技術を学び、身につけ、そして誰かの役に立つ喜びを感じることができ、一社会人として成長することができたと思います。
4年間という短い間でしたが大変お世話になりました。ありがとうございました。

山田：4年間強、お疲れ様でした。仕事が早い！正確！要領がいい！報連相を忘れない！
！全てにおいて、とっても優れた人財でした。
まさに“人財！！”惜しい人を無くしました（泣）！！
私は管理が不得手なので、そのフォローもしてくれて、秋山さん退社後どうなるのだろうと不安になっています。たまに、ストレス？か、胃が痛くなって、休むこともありましたが、幸せな結婚生活では、そのような事も無いでしょう！！お幸せに！！今までありがとうございました。

経営に役立つメールマガジン



永田経営グループでは、定期的に皆様のお役に立つような記事をメールマガジンでも発行しております。

経営、労務、税務、会計、マーケティング、業種別情報等様々な情報を提供させていただきます。

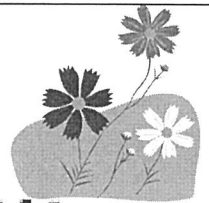
全て2、3分程度で読め、すぐ実践していただける内容ばかりです。ぜひ、ご覧ください。

なお、配信ご希望の方は、mm@nagatakaikei.co.jp 宛に、会社名、お名前を記載の上、空メールを送信してください。

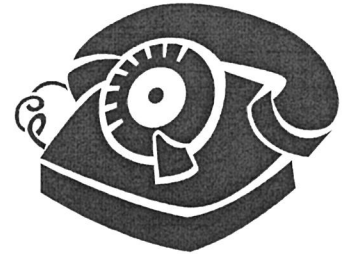
パソコン用メールアドレスのみとなりますので、ご了承ください。

秋は税務調査の季節。

税務署から突然電話が来たらどう対応する？



税務署です。
10月5日に税務調査に行きたいのですが



実は、秋は税務調査が多い季節でもあります。突然、税務署から「税務調査に入る」と電話がかかってきたらどう対応すればよいでしょう？ 次のなかから選んでください。

- (1) 「わかりました。お願いします」と即答し、調査日時をその場で決める
- (2) 即答せず「顧問税理士に確認して折り返し連絡します」と答える
- (3) 「当社は今繁忙期なので、またにしてください」と、やんわりと断る

○「調査予定日」「調査官の所属部門」「調査官の氏名」の3点を確認

答えは(2)です。税務調査には強制調査と任意調査の2種類あります。通常の任意調査はコンスタントに黒字を出している企業なら、3～5年に一度はやって来ます。税務署から事前連絡があり、都合のよい日程を決められるのです。

とはいっても、税務署からの連絡は突然です。連絡が来ても慌てず冷静に対応しましょう。まず「調査予定日」「調査官の所属部門」「調査官の氏名」の3点を確認。それから「顧問税理士に確認して折り返し連絡します」とワンクッション置きます。急に電話が来ても、正しく対応できるよう、以上の点を紙に書いて、電話の前に張っておくとよいでしょう。

○準備とリハーサルは念を入れて

社長さんにとって税務調査は非日常的で不安がいっぱい。それに対して税理士は多くの顧問先の税務調査に立ち会うので、調査には慣れていますが。顧問税理士に連絡すると、余裕を持って税務調査の日程を設定してくれるのです。

調査当日までにすべきことは、準備とリハーサルです。調査の対象となるのは、帳簿、請求書、領収書、契約書、預金通帳など。調査官から提示を求められたらすぐに取り出せる状況にしておきましょう。提示を求められてから書類を取りに行くと、調査官も一緒についてきて余計な書類をチェックされる危険性があるので注意が必要です。

調査されるのは、基本的に申告済みの前期以前3期分。書類の不備があれば、調査当日までに補完しておきましょう。

また、落ち着いた気持ちで調査に臨めるよう、リハーサルを忘れずに。

当日、緊張のあまり余計なことを話してしまい、誤解や指摘を受けないよう、入念に準備しましょう。

